

せんござわ 千五沢ダム



千五沢ダム再開発事業

進捗状況

千五沢ダム再開発事業は、かんがい専用ダムに洪水調節機能を付加するため、洪水吐き等の改築を行う事業です。平成30年度から非かんがい期(10月下旬から2月下旬)に流入部コンクリート打設を開始し、令和3年度末に打設を完了しました。今年度は、洪水吐き導流部コンクリート打設と天端橋梁上部工の施工が完了し、現在、周辺整備等の施工を実施しています。10月からはダムの安全を確認するため、試験湛水を行う予定です。



令和5年9月末現在 事業進捗率 99.5%



左岸展望台から見たダムサイトの状況です。



洪水吐き流入部の施工状況です。



周辺整備の施工状況です。



ダムカードとは、ダムのことをより知つてもらうためにダムに訪れた方に配布しているカードです。

令和4年8月1日現在、千五沢ダムも含めて福島県内では基本26ダムで配布していますが、新型コロナウイルス感染症対策のため、個別に配布を休止している場合がありますので、お出かけの際は事前に連絡してください。

DAM-DATA

所在地：福島県石川郡石川町大字母畠
河川名：阿武隈川水系北須川
型式：中央コア型アースダム
ゲート：ゲートレス(自然調節方式)
堤高・堤頂長：43m・176.5m
総貯水容量：1千3百万m³
管 理 者：福島県／東北電力
本体着工/完成予：2014 / 2024年(予定)

詳しいデータはこちら：<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41320a/damkennsetsuka.html>

ランダム情報

ダムのある地である石川町は、日本三大蜜柑産地の一つとされ、壁や民舎資料館には多くの産出軸物が展示されています。

毎年1月に開催される北須川・今出川沿いに、いつせいに放さざる桜並木には多くの観光客が訪れ、県内有数の桜名所となっています。

こだわり情報

千五沢ダムの再開発工事は、農業専用のダムに新たに治水機能を付加します。洪水吐きに沿った構造物を最大限利用するため、ラビリンス形状を採用しました。

農業用水を供給しながらの工事となるため、洪水吐きは非かんがい期の冬期に施工する特異な工事となります。



千五沢ダム再開発事業

石川町大字母畠地内

千五沢ダム再開発事業は、石川郡石川町に昭和50年3月に完成したかんがい専用の千五沢ダムに治水機能を付加するための改築を行う事業です。

平成26年度に洪水吐改築工事に着手し、令和5年度の完成を目指します。

ダムの目的

【洪水調節】

戦後最大の被害を与えた洪水(S41.9)に対して安全となるよう、ダムに水を貯め、洪水の調節を行います。

【かんがい用水の供給(現在の機能)】

母畠地区の1.985ha農地に対して、かんがい用水として最大3.088m³/sの取水を可能にします。

【河川流量の維持・既得取水の安定化】

北須川の水辺環境への影響を少なくするために、一定の河川流量を維持して河川環境を保全するとともに、沿川の既得取水の安定化を図るため安定した水の補給を行います。

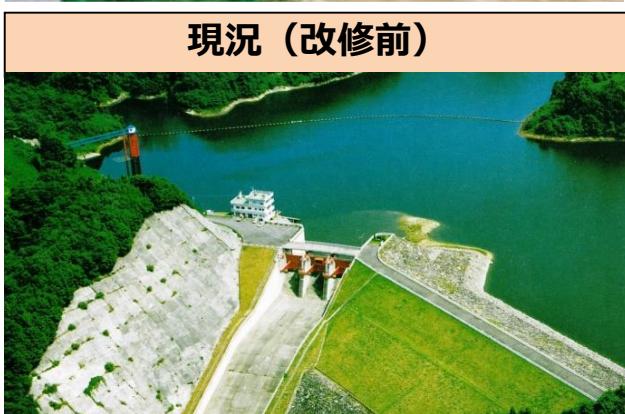
ダムの効果



【昭和62年5月渇水状況】

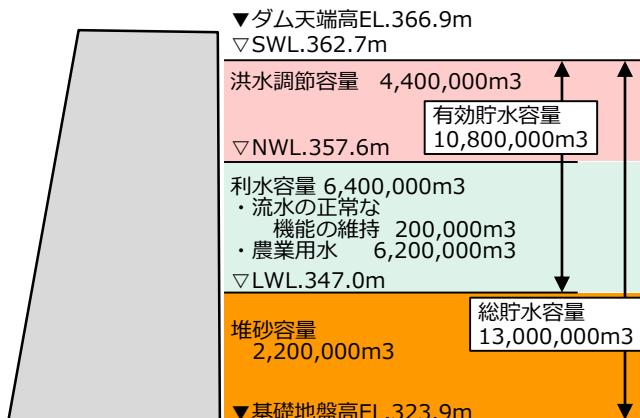


【平成10年8月出水状況】



現況(改修前)

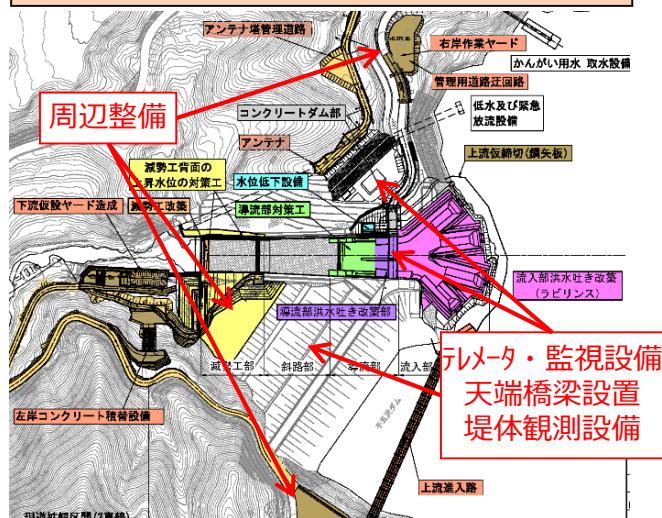
完成後のダム容量配分図



令和5年度の事業内容

- ・管理橋設置(令和5年6月完了)
- ・堤体観測設備工事
- ・テレメータ・監視設備工事
- ・周辺整備
- ・試験湛水実施

改築平面図



将来計画(改修後)

